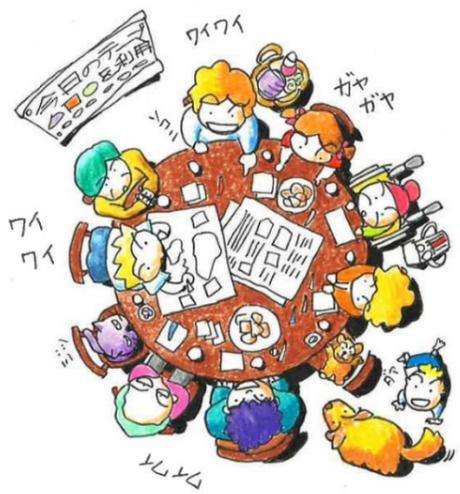


集合！上郷！未来へGO！ みんなde 語らって



12月9日の日曜日の午前中、東小学校放課後子ども教室において、農村環境改善センターのグラウンドに整備予定の保育園・児童館・児童発達支援センター・地域交流施設等の複合施設について語り合うイベント「みんなde 語らって」の3回目を開催しました。この日の参加者は、市民、職員、設計チームなど含めて29名でした。

まず前半は、これまでの「語らって」、「フォーラム」のふりかえりや、どんぐりの苗木づくりのイベントの様子などを紹介したあと、設計内容の経過報告を行いました。後半は、6グループに分かれて、地域交流スペースの使い方や間取りについて考え、グループで1つのレイアウト案にまとめて発表しました！



地域交流スペース。どう使う？どうつくる？

3 まとめ～あいさつ



ファシリテーター たけぞー

幾つか共通点がありましたね！1つは「和室」と「縁側」とか、「陽当たり」関係のアイデア。また、タバコ屋ブースや、ちょっとしたカウンターなど、「人のいる居場所」や「人を迎え入れる行為を装置化」したらというアイデア。あとは、「どうやって人を引き寄せせるか？」ということで、新聞や本があると来るかも？といったアイデアもありました。北側駐車場や通路、南側の保育園0歳児の園庭、トイレの位置の工夫など「周囲とのつながり」についても考えられていましたね。
どの案もそれぞれに良さがあると思うので、これらの案をベースに、設計チームでよく考え、またみなさんにお示しできると幸いです。お楽しみに！

この6案を見させていただいて、なんだかすごくワクワクしてきました！
もともと、この施設をどういう施設にしようか？という設計のワークショップからはじまり、ハード面はここで一区切りとなります。せっかく「子ども・子育て」の機能がここに集まるので、子育てを一つのきっかけにして、みなさんに繋がっていただきたい。この「語らって」では、本当にいろいろな広がりや可能性やアイデアがどんどん湧いてくるので、本施設の地域交流スペースでみなさんの特技やアイデアをうまく活かしていただきたい！このようなプロジェクトを今後も引き続きやっていきたい！と思っています。本日はありがとうございました！



子育て支援課長 門前

1 あいさつ～設計内容の経過報告

設計中のプランの変更点等について、市と設計チームから説明を行いました。

子育て支援課より

大きな変更点は2つです。1つめは、これまでにみなさんから出していただいたご意見を一つでも多く取り入れようとプランを作成してきた結果、市が予定していた予算をオーバーしてしまったので、基本的な方向性は変えずに、余裕がある箇所の面積を減らすなどして「スリム化」しました。2つめは、「東小から児童館への通路」について。関係機関との協議の結果、別々の敷地にまたがる施設をつくるのは困難であるとの指摘を受け、また児童の安全確保の面からもとりやめることにしました。



子育て支援課 かんちゃん(岩崎)

設計チームより

保育園の2階に50m廊下がありましたが、40mになりました。面積を絞っていくことで陽当たりが良くなったり、動線が短くなったり、良くなった部分もあります。結果的に南向きの部屋も増えました。
児童館のアプローチが大きく変わり、東側でなく南側からとしました。一番広い園庭を眺めながら、階段を上がって外廊下を通り、児童館の玄関に入ります。児童クラブの親御さんのお迎えは、北側駐車場に車をとめて北側から帰るようにしました。つまり、この建物は南から入り階段を上がって降りれば北側に抜けられるようになっています。運動会の時は人気の観覧スペースにもなりそうです。
当初計画にもあった児童発達支援センターの園庭もより独立性を増すことができました。小さいですが、保育園の0・1歳児用の園庭なども確保し、現在のプランはまとまりつつあります。

ひとことアンケートより それぞれの年齢、立場、視点があって集まることがおもしろい／どこの班の設計も「人とつながること」を大切に考えてあり、とても良かったです／地域交流スペースがどんなものであるのか改めて考える良い機会になりました。いろいろな人の意見を聞いてなるほど!!と勉強になりました／設計がどんどん進んでいて、すごいなと思いました。完成が楽しみ ほか

長久手市役所 子育て支援課施設係
TEL:0561-56-0633 (直通)
FAX:0561-63-2100
E-mail: kosodate@nagakute.aichi.jp

「プロジェクトの『愛称』を考えよう！」
を開催予定です。詳細が決まりましたらお知らせします。お楽しみに！



設計チーム オイ・ジコ

2 グループワーク「地域交流スペース。どう使う？どうつくる？」

6グループに分かれて地域交流スペースをどんなふうに使いたい(ソフト面)や、そのためにはどんな部屋や機能(ハード)があったら良いかを、デザインゲームでレイアウトを考えながら話し合い、最後に発表しました！



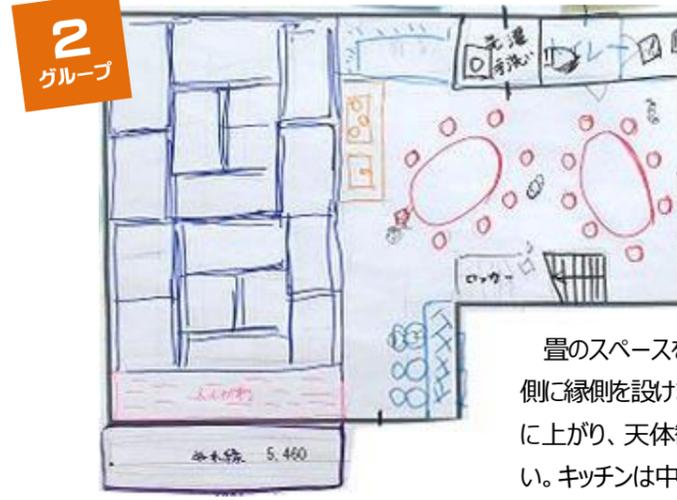
1
グループ

設計チームより

地域交流スペースは、この施設をサポートする方々や地域の方の集いの場。活動の拠点として、また休憩所として使えるように設けています。別棟なので、自力建設や土壁でつくるなどの可能性も広がります。農村環境改善センターとつながりの持てる配置となっています。個人的には、ここにカフェなどがあっていいかなと思います。



うちの班の提案の最大の特徴は、入口の角にタバコ屋のおばちゃんみたいな当番の人がいて色々相談できる。野菜や手作りの雑貨も販売。庭園を眺められる南側には縁側のついた和室。皆が持ち寄った本で上郷ライブラリー。薪ストーブを囲んで井戸端会議。カウンターはアイランドキッチン。人が常時いることで色んな活動の拠点となり、不審者チェックもできます。



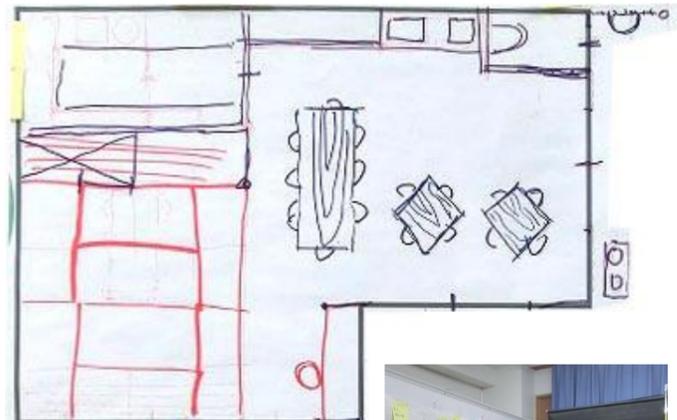
2
グループ

畳のスペースを広くして、その南側に縁側を設けます。階段で屋上に上がり、天体観測ができるといい。キッチンは中央、頻度の多くないカマドは屋外にしました。机はこだわりの楕円形(笑)。トイレと洗濯コーナーは、中からも外からも行けるようになっています。

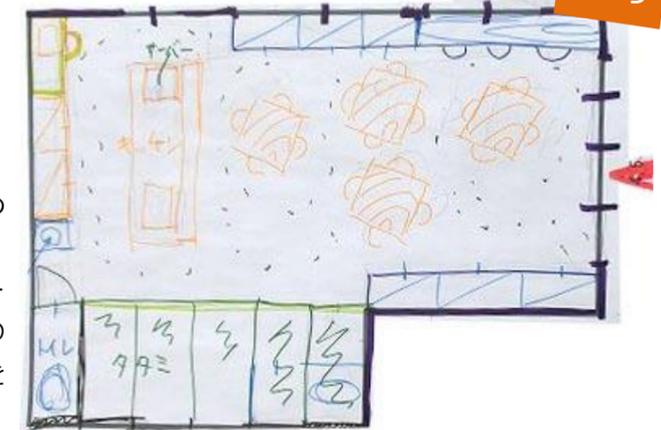


3
グループ

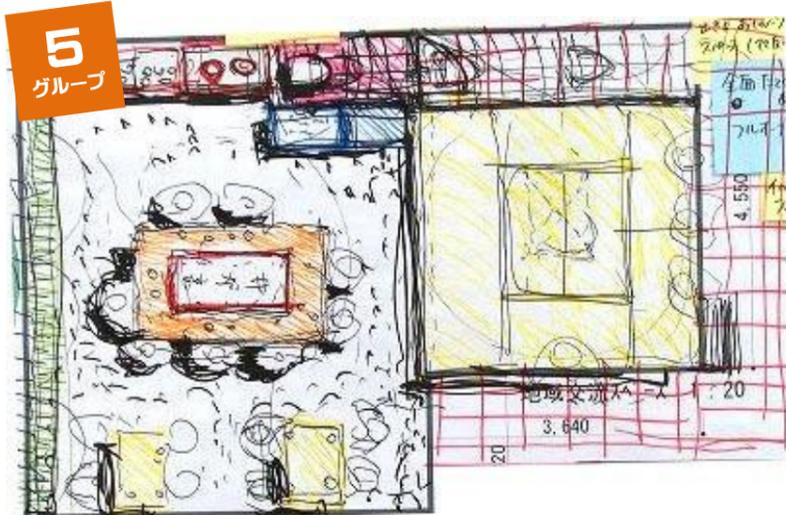
南側に畳、東側に土間。土間には、大きいテーブルと四人席2つ。キッチンがあってお茶を飲んでもらったりできる。北側倉庫は防災備品を収納。トイレは駐車場がある外からも入れたい。かまどは中にあると邪魔だけど、あるとカッコいいので屋外に付けました。下の角は事務の人が座るカウンターになっています。



南側に畳。園庭で遊ぶ子どもを見ながらお茶が飲めます。奥にトイレと洗面。キッチンはアイランド型にして、入ってきた人と会話ができるように。奥には事務スペース。広い土間において、会議や作業、カフェなどその時々で使い方を変える。北側カウンターに新聞や本を置き、毎日朝から誰かがいて防犯にもつながります。

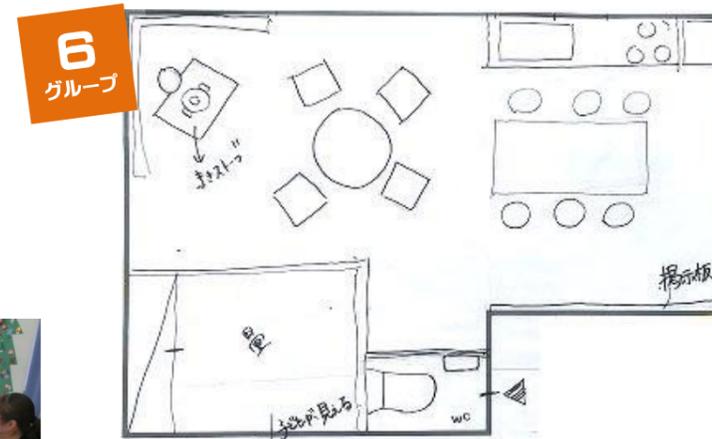


4
グループ



5
グループ

東側に畳。駐車場に向かって建具が開いてフルオープンになり、ライブとかもできるちょっとした舞台になるといい。西側は土間。西日が差すので壁は天井まで本棚にして、絵本や農の本など、ちょっと専門的な本も置いて集ってもらえるといい。南側には机を持って来て小さな子を眺めたり...カフェは囲炉裏のテーブルで。夜になったら日本酒などを提供して、居酒屋風にもできるといいかも！



6
グループ

東側の保育園入口側から入ります。入って南側の壁に静読コーナー。北側にキッチン。駐車場でマルシェをする時なども、このキッチンを利用できます。カマドではなく調理用の薪ストーブを設置。畳は南側に小さいスペースをつくりました。トイレは裏から回って入る屋外トイレです。

